



# 海外旅行の感染予防 予防接種も忘れずに！

令和6年4月17日  
富山県感染症情報センター  
(富山県衛生研究所内)  
(0766-56-5431 直通)

## 感染症発生動向速報

(令和6年第15週分・4月8日～4月14日)

### 《インフォメーション》

#### ●海外へ渡航されるみなさまへ

まもなく、新型コロナウイルス感染症の5類移行後初めてのゴールデンウィークを迎えます。この連休中に海外に旅行される方も多いと思います。海外で感染症にかからないようにするために、感染症に対する正しい知識と予防に関する方法を身に付けてから出かけましょう。

渡航先や渡航先での行動によって異なりますが、最も感染の可能性が高いのは、食べ物や水を介した消化器系の感染症（旅行者下痢症、A型肝炎、E型肝炎、コレラ、赤痢、腸チフスなど）です。また、海外では、日本で発生していない蚊やマダニ、動物が媒介する感染症や、麻しん（はしか）、風しんなどが流行している地域があるため、注意が必要です。

予防接種を受けることで、感染症のリスクを下げる事ができる病気があります。必要な予防接種は、渡航先、渡航期間、渡航形態、自身の年齢、健康状態、予防接種歴などによって異なるため、事前に、検疫所や外務省のホームページなどで渡航先の感染症情報を収集し、どの予防接種を受けるかを判断しましょう。予防接種の種類によっては、数回接種しなければならないものもあります。また、予防接種の効果が表れるまでには時間を要するため、早めの接種を検討しましょう。

次のことに注意して、楽しい旅行にしましょう。

検疫所 <https://www.forth.go.jp/index.html>  
外務省 <https://www.anzen.mofa.go.jp/>

- 海外渡航先では、生水・氷・カットフルーツの入ったものを食べることは避けましょう。
- 食事は十分に火の通ったものを食べましょう。
- 蚊・ダニに刺されないように、服装に注意し、虫よけ剤を使うなどしましょう。
- 動物は、狂犬病や鳥インフルエンザなどの病原体をもっていることがあるので、むやみに触らないようにしましょう。
- 薬物使用での注射器の使い回しやゆきずりの性交渉で感染し、一生の後悔をすることのない行動をとりましょう。
- 咳や発熱、発疹など、なんらかの症状がある方との濃厚な接触は避けるようにしましょう。
- 帰国後に体調不良を感じた場合は、早めに医療機関を受診し、渡航歴を伝えましょう。

### 《全数報告の感染症》

- 二類感染症 結核 4件 (①第13週診断分：30歳代、男性 ②第14週診断分：10歳未満、女性 ③20歳代、女性 ④80歳代、女性)
- 四類感染症 E型肝炎 1件 (70歳代、男性)
- 五類感染症 カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症 1件 (60歳代、男性)  
侵襲性肺炎球菌感染症 1件 (10歳未満、男性)  
梅毒 1件 (60歳代、男性、無症候)

### 《定点報告の感染症》

今週の県内上位6疾患		定点あたりの数	
順位	疾病名	今週 (増減)	先週
1位	感染性胃腸炎	10.36 (↑)	9.29
2位	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	4.86 (↑)	4.50
3位	インフルエンザ	4.24 (↓)	8.21
4位	COVID-19	3.96 (↓)	5.09
5位	咽頭結膜熱	2.25 (↑)	1.36
6位	RSウイルス感染症	0.86 (↑)	0.29

富山県感染症情報センターURL: <https://www.pref.toyama.jp/1279/kansen/>

※第9週分以降、URLが変わりました



○感染症発生動向調査報告状況（令和6年第15週 令和6年4月8日～令和6年4月14日）

分類	疾患	今週報告分（第15週）						累積報告数（令和6年第1週（1月1日）～）							
		新川	中部	高岡	砺波	富山市	計	新川	中部	高岡	砺波	富山市	計		
全数把握	二類感染症	結核					2	2	5	2	9	2	18	36	
		（再掲）結核：無症状病原体保有者を除く					2	2	2	2	3	1	10	18	
	三類感染症	腸管出血性大腸菌感染症									1		2	3	
	四類感染症	E型肝炎					1	1					1	1	
		レジオネラ症								1	5	1	8	15	
	五類感染症	アメーバ赤痢											1	1	
		カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症			1			1			2		2	4	
		急性脳炎									1		1	2	
		劇症型溶血性レンサ球菌感染症							1		2	1	4	8	
		後天性免疫不全症候群（HIV感染症を含む）										1	2	3	
侵襲性インフルエンザ菌感染症										1	1	1	3		
侵襲性髄膜炎菌感染症												1	1		
侵襲性肺炎球菌感染症						1	1	1		1		4	6		
水痘（入院例）									1				1		
梅毒				1			1			2	1	1	4		
播種性クリプトコックス症											1	1			
定点把握（上段：報告数、下段：定点医療機関当たりの報告数）	インフルエンザ／COVID-19定点（46定点）	インフルエンザ	7	9	55	66	58	195	1,050	1,025	3,947	1,466	5,002	12,490	
		COVID-19	1.17	1.80	4.23	9.43	3.87	4.24	37	16	58	43	28	182	
	小児科定点（28定点）	RSウイルス感染症	6.17	3.20	4.46	6.14	1.87	3.96	2	7		9	6	24	
		咽頭結膜熱							0.50	2.33		2.25	0.67	0.86	
		A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	4	13	28	7	11	63	9	2	92	18	15	136	
		感染性胃腸炎	2.25	0.67	11.50	4.50	1.67	4.86	23	27	65	48	127	290	
		水痘	5.75	9.00	8.13	12.00	14.11	10.36			6			6	
		手足口病									0.75			0.21	
		伝染性紅斑											2	1	
		突発性発しん			2	1	3	6					3	7	
		ヘルパンギーナ			0.25	0.25	0.33	0.21					38		
		流行性耳下腺炎										2	2	1	
		眼科定点（7定点）	急性出血性結膜炎											1	1
			流行性角結膜炎								7	1	8	3	6
		基幹定点（5定点）	無菌性髄膜炎											3	3
		入院サーベイランス（5定点）	インフルエンザによる入院患者（※1）					1	1					20	10
			COVID-19による入院患者	8	3	1	7	10	29	66	86	56	88	240	536

本週報のデータは速報値であり、今後、調査などの結果に応じて若干の変更が生じることがあります。

※1 インフルエンザによる入院患者累計報告数は、令和5年第36週（9月4日）～の集計です。

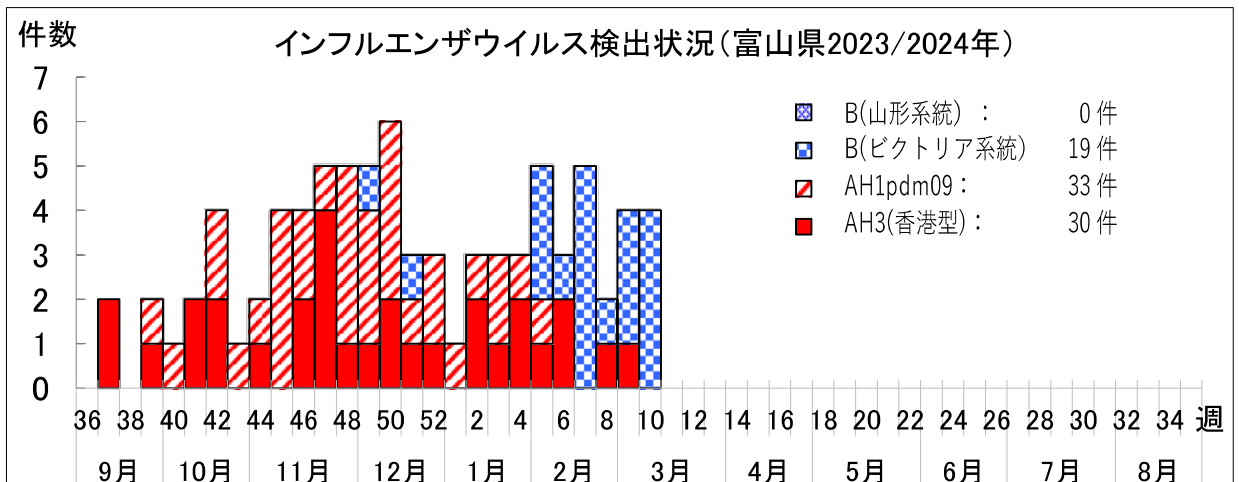
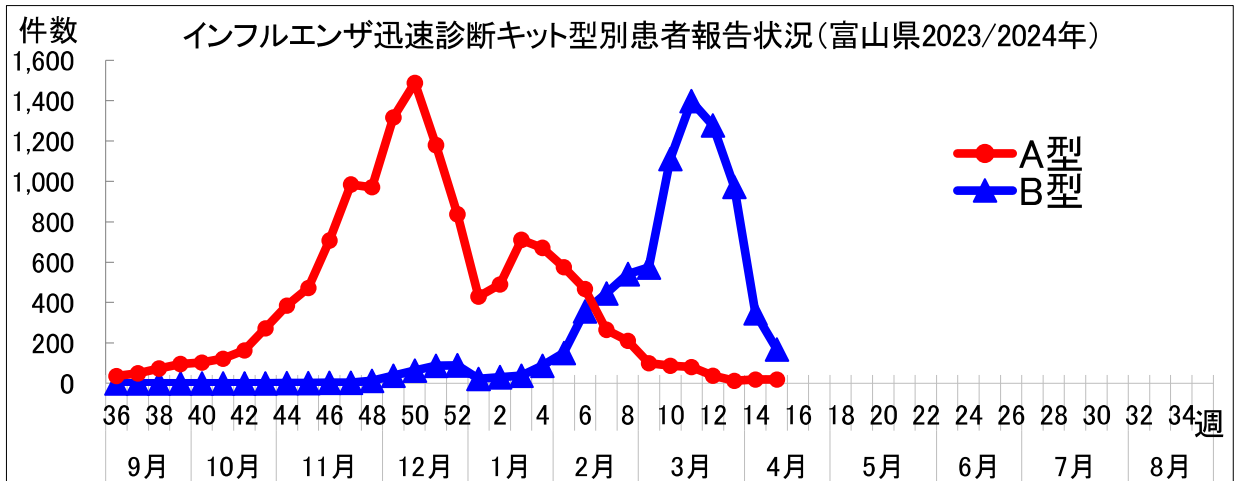
## インフルエンザ定点における患者診断状況

このデータは、インフルエンザ定点医療機関で実施されたインフルエンザ迅速診断キットの診断数を集計したものです。  
 現在、下の表によると、B型が86.2%となっています。

### 第15週(4/8~4/14)：富山県 4.24人/定点 (単位:件)

厚生センター・保健所名	報告数/定点数	迅速診断キット		その他 <sup>※2</sup>	合計
		A型	B型		
新川	2 / 6	0	7	0	7
中部	3 / 5	0	9	0	9
高岡	10 / 13	13	39	3	55
砺波	7 / 7	2	62	2	66
富山市	11 / 15	4	51	3	58
富山県	33 / 46 <sup>※1</sup>	19	168	8	195
富山県累計(2023年36週~)		13,433	7,821	1,345	22,599

※1 46の定点医療機関のうち、インフルエンザと診断した医療機関が33か所あったことを示します。  
 ※2 「その他」には、臨床症状等によりインフルエンザと診断したが型別までは不明な患者や迅速診断キットの結果がA型とB型共に陽性の患者が対象となります。



インフルエンザ情報



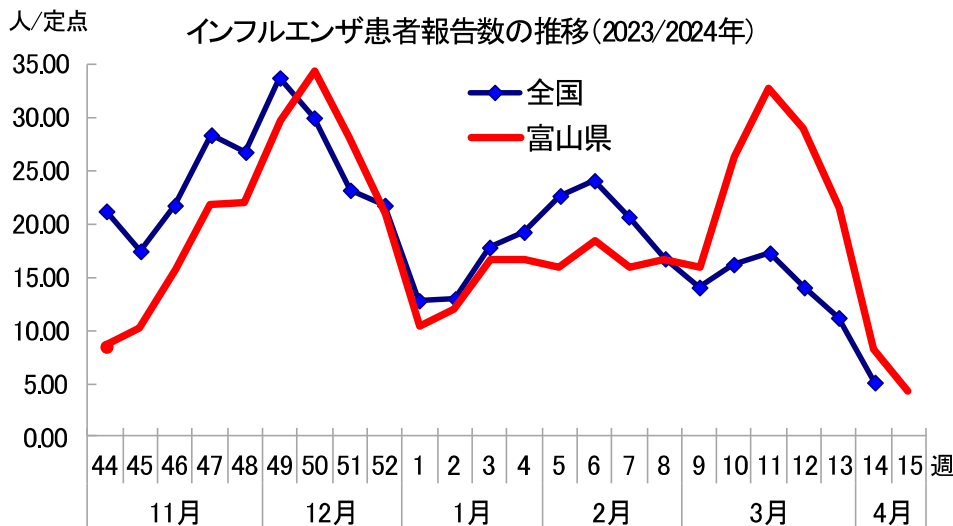
● 定点医療機関からのインフルエンザ患者報告状況

第15週 (4/8~4/14) : 富山県 4.24人/定点

新川 HC (1.17)、中部 HC (1.80)、高岡 HC (4.23)、砺波 HC (9.43)、富山市 HC (3.87)

全国の患者報告数は、第14週に5.10人/定点となり、前週から減少しました。

県内の患者報告数は、今週4.24人/定点となり、前週と比較して減少しました。

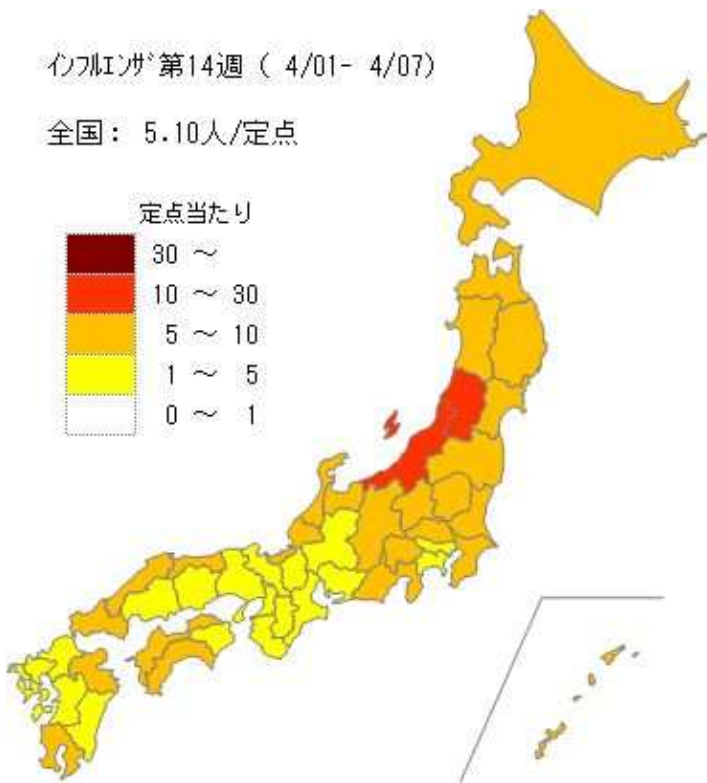


● 都道府県別インフルエンザ患者報告状況 第14週 (4/1~4/7)

全国の患者報告数は、定点医療機関あたり 5.10 人となり、前週の 11.18 人より減少しました。47 都道府県すべてで前週より減少しています。

インフル第14週 (4/01- 4/07)

全国: 5.10人/定点



都道府県	人/定点	都道府県	人/定点
北海道	6.90 ↓	滋賀県	3.50 ↓
青森県	6.81 ↓	京都府	3.07 ↓
岩手県	7.97 ↓	大阪府	1.90 ↓
宮城県	6.34 ↓	兵庫県	2.46 ↓
秋田県	6.38 ↓	奈良県	2.07 ↓
山形県	11.47 ↓	和歌山県	4.69 ↓
福島県	7.98 ↓	鳥取県	9.28 ↓
茨城県	6.92 ↓	島根県	7.45 ↓
栃木県	7.34 ↓	岡山県	2.75 ↓
群馬県	8.50 ↓	広島県	4.50 ↓
埼玉県	6.23 ↓	山口県	6.19 ↓
千葉県	6.03 ↓	徳島県	4.86 ↓
東京都	4.17 ↓	香川県	6.57 ↓
神奈川県	4.36 ↓	愛媛県	9.67 ↓
新潟県	10.25 ↓	高知県	5.91 ↓
富山県	8.21 ↓	福岡県	2.09 ↓
石川県	6.06 ↓	佐賀県	3.08 ↓
福井県	6.36 ↓	長崎県	4.87 ↓
山梨県	7.51 ↓	熊本県	4.08 ↓
長野県	5.55 ↓	大分県	5.29 ↓
岐阜県	4.33 ↓	宮崎県	3.55 ↓
静岡県	5.99 ↓	鹿児島県	5.32 ↓
愛知県	3.89 ↓	沖縄県	5.42 ↓
三重県	4.06 ↓	<b>全国</b>	<b>5.10 ↓</b>

○感染症発生動向調査報告状況（令和6年3月分）

五類感染症 定点把握 月報対象疾患

（上段…報告数、下段…定点医療機関当たりの報告数）

		3月報告分					累積報告数						
		新川	中部	高岡	砺波	富山市	計	新川	中部	高岡	砺波	富山市	計
STD定点 (10定点)	性器クラミジア感染症			1		10	11			3		28	31
				0.33		2.50	1.10						
	性器ヘルペスウイルス感染症		2	1		12	15		3	2		22	27
			2.00	0.33		3.00	1.50						
尖圭コンジローマ					1	1	2				2	2	4
					1.00	0.25	0.20						
淋菌感染症			1		3	4			2		5	7	
			0.33		0.75	0.40							
基幹定点 (5定点)	メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症	4				8	12	7	2	8	2	27	46
		4.00				8.00	2.40						
	ペニシリン耐性肺炎球菌感染症			2			2	1		2		2	5
				2.00			0.40						

本月報のデータは速報値であり、今後、調査などの結果に応じて若干の変更が生じることがあります。